

2006年 早稲田大学大学院公共経営研究科

第4 産業・経済
魅力ある産業づくり宣言

～ 企業精神とリーダーシップにあふれた農業者の創出～

Dグループ

マニフェスト:がんばる農家を応援します

- 特産品の全国ブランド化
- いきがい農業の推進
- 農業基盤の整備
- 「しんせつ農政」の充実

元気な商工業の創造

魅力ある観光の振興！

視察 & 取材実施施設・企業

- 農産物直売所「吉舎元気市」
 - 布野町(支所・旧横谷小学校)
 - 道の駅ふぉレスト君田「森の泉」
 - ベジタハウス(広島三次ワイナリー隣接の農産物直売所)
 - 作木果樹園芸組合
 - 道の駅「ゆめランド布野」
 - 大前農園
 - 有限会社 平田観光農園
 - 東洋林産化成 株式会社
 - 農事組合法人 三次ピオーネ生産組合
 - 灰塚ダム
 - 有限会社 安瀬平牧場
 - 高原安瀬平乳業 有限会社
 - 奥田元宋・小由女美術館
-

現状と課題

【法律の改正】

改正農薬取締法

・地域生産作物へ使用可能な農薬の不足

ポジティブリスト

・農薬の飛散による無農薬栽培農家の被害

減反政策の見直し

【市場・消費者側の要望】

安全・安心・おいしい食材（生産者の顔の見える信頼のおける食材）

【生産者側の要望】

新規流通網の開拓

新しい担い手の確保

みよしブランド 無農薬・減農薬 有機農法

土壌改良(豊かなミネラル)
堆肥・肥料・有効微生物
おいしい水
薬漬けでない、健康な動植物との対話

有機農法によるブランド品を
全国に発信!

エコファーマー認定農家数：4

Aさん：アスパラ

Bさん：アスパラ

ホウレン草・小松菜

Cさん：アスパラ

やまのいも

甘藷

Dさん：いちご



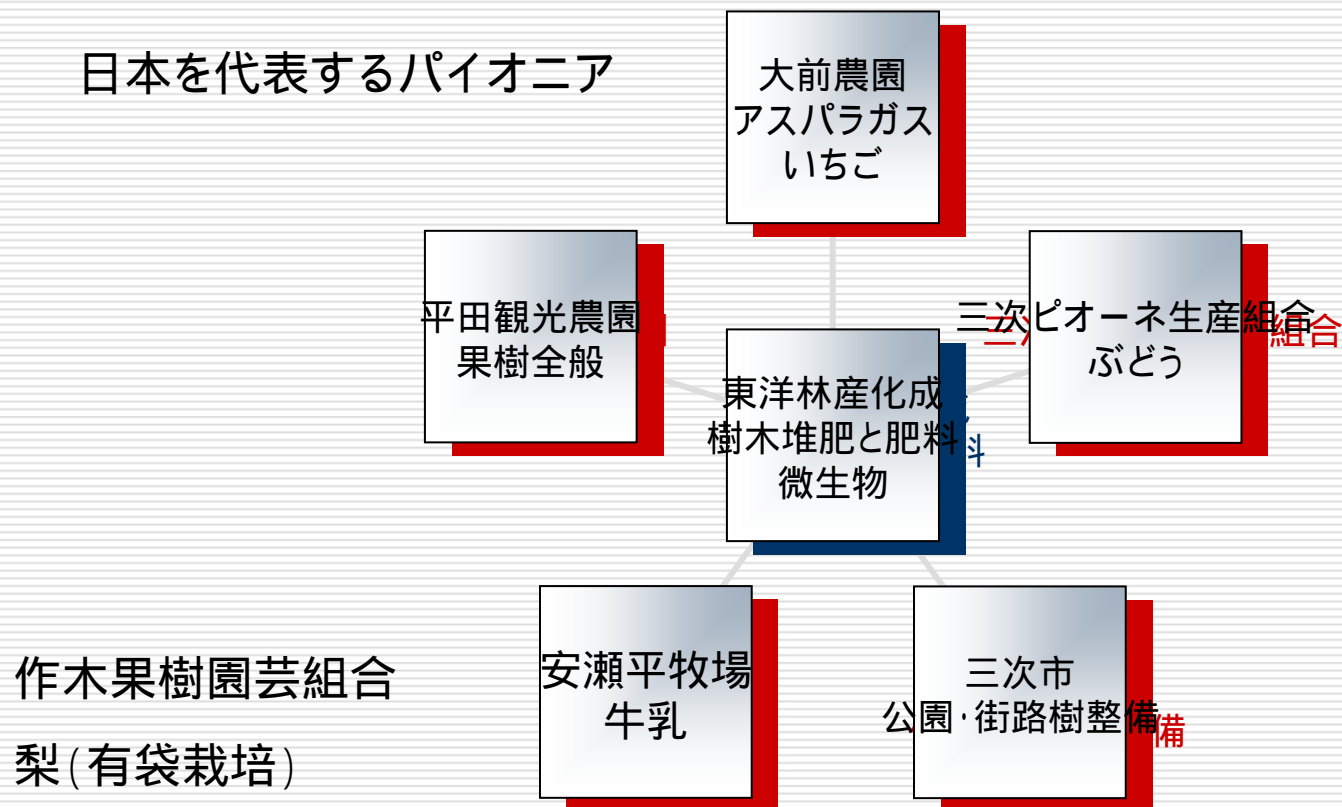
安心！広島ブランド認定制度

JAから県へ申請する制度

- ・化学肥料、化学農薬の使用が特別栽培農作物ガイドライン地域慣行レベルの半分以下
(減農薬)
 - ・生産、流通履歴の記帳と保管
 - ・履歴情報が追跡、遡及可能であること
(トレーサビリティ)
-

調査による可能性の裏づけ

日本を代表するパイオニア



会員による有機野菜・加工品の委託販売

- | | |
|------------------------------|--------|
| □ 農産物直売所「吉舎元気市」 | ・直売 |
| □ 道の駅ふぉレスト君田「森の泉」 | ・加工品開発 |
| □ ベジタハウス(広島三次ワイナリー隣接の農産物直売所) | ・レストラン |
| □ 道の駅「ゆめランド布野」 | ・IT通販 |
| □ 高原安瀬平乳業 有限会社 | ・宅配 |
| | ・提案公募 |
| | コンクール |
| | ・OEM製造 |
| | ・体験農業 |
-

現状と課題

【法律の改正】

改正農薬取締法

・地域生産作物へ使用可能な農薬の不足

ポジティブリスト

・農薬の飛散による無農薬栽培農家の被害

減反政策の見直し

【市場・消費者側の要望】

安全・安心・おいしい食材（生産者の顔の見える信頼のおける食材）

【生産者側の要望】

新規流通網の開拓

新しい担い手の確保

新たな農業の担い手を獲得する

□ 人材！

・市場や消費者に対する最大の魅力は、

有機ブランド

ブランド定着の為には、ある程度の生産量が必要。その為には、農業の組織化が求められ、多くの生産者をまとめる「リーダー」が必要。

・新たな担い手の不足による不安の声が多く聞かれた。

農業後継者の現状

【現状】

農業従事者の高齢化

販売農家の高齢化率(65歳以上 37.8%)

(2005年農業センサス)

担い手育成の推進

生産体制の整備、転作作物の本作化推進、

担い手育成交付金などを実施

(三次市水田農業ビジョン)

農業指導者からの要望

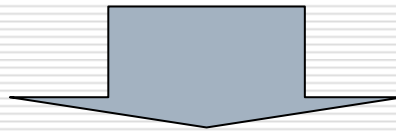
新規就農者に対する援助が少ない。

インターンシップ等の研修に対して、
ある程度の経済的支援が欲しい。

深刻な後継者問題について

後継者育成事業の推進

現在ある担い手事業は、全くの新規就農者を対象としていないのではないか。



有機農法の新規担い手を全国的から募集すると同時に、新規就農者のみを対象にした仕組みづくりが必要と考える。

【提案1】新規農業者育成事業

コーディネート事業

新たに農業に取り組みたいが土地の無い人の為に

高齢化等、何らかの理由により農業を辞めざるをえない人に土地を登録してもらい、新規就農者に斡旋する。

コーディネート役を行政が行うことにより、他人が土地に入る不安を解消。

技術指導事業

新たに農業に取り組みたいという新規就農者や農業後継者に対し、技術習得を支援し、農業経営の安定を図る。

新たな作物の栽培に取り組みたいとする農業者へ、先進的な経営を行っている市内の農業者を紹介し、実際に作業しながら栽培技術を研修する。

研修生(主に20~30代)は作物ごとの研修プログラムに沿って、農業経営者からの技術指導を受けることが可能。

補助金事業

自立し安定性のある経営を行うため、その所得に応じた就農援助金を支給する。

また、受け入れ農業者に対しても、受け入れ数によって謝礼を払う。

【提案2】無農薬農法のできる環境整備

- 山間や谷を利用し、無農薬栽培に特化した耕作区域を開墾する。
 - 無農薬栽培に必要な、病害虫対策の指導
 - みよしブランド品としての《有機農法認定制度》の確立
 - 全国供給できる生産量の確保
 - 新たな流通の開拓
-

【提案3】

- 農法に関する特許・著作権・商標 & 意匠登録
 - 残留農薬除去システムの確立
 - 小中学校での「農業プログラム」の導入
 - さらなる「食育教育プログラム」の推進
 - 大学生へ《みよしブランド》起業提案と指導
 - 中心地での「楽市楽座」「フリーマーケット」の開催
(各地域の連携と販売量の増進)
-

経済活性化に繋がる観光地として

- 国内外から観光客を多数確保するために
 - ・全市公園化計画
 - ・花いっぱい運動を市民と展開
 - ・治安の維持
 - ・ごみのない美しい町並み
 - ・歴史や魅力の感じる町並み景観
 - ・特色ある地域づくり(大型観光キャンペーン)
 - ・自然環境と整備された交通網
-

元気なみよし市民へ

- Everybody (誰でも、みんな)
 - Everyday (毎日)
 - Easy (簡単に)
 - Emotional (感動的に)
 - Entertainment (楽しく何でもやっちゃおう)
 - Endless (いつまでも終わりになく)
-

取材交流の思い出



早稲田大学 & みよしによる百年物語



みよし百年物語

月の光に誘われて 江の水面に集まる子
ゆらく流れに身を任せ 巴に結ぶ出会いかな

竹籟かすかに聴こえ行く 子らの語らい物語り
楽しげに踊る輪の中に 月の光の道行かん

神々歩む通り道 そっと種蒔くさりげなさ
風の流れに誘われて 何処も薫る花の道

天地を繋ぐ街道は 香具夜の月に照らされる
みよしとともに歩む子ら 迷わず道を進み行く

月の暦を数えつつ 百瀬の時を待ちわびる
みよし百年物語 水面に描かれる物語